

**警察署協議会議事概要**

協議会名	神奈川県旭警察署協議会
日 時	令和5年7月31日（月）午後1時50分から午後4時50分までの間
場 所	神奈川県旭警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側            会長 伊佐地誠嗣、副会長 金沢哲男            阿部順一、市川慎二、臼井教恵、大矢直子、岡田 隆、北澤正浩            久保田賢治、久保田真樹、佐藤 宏、土谷竜郎、土岐典子、            中丸秀樹 <span style="float: right;">計14人</span></p> <p>2 警察署側            警察署長 吉田善成、副署長 手島洋人、地域担当次長 岡本克英            警務課長 宮崎哲也、留置管理課長 西井浩一、会計課長 飯島重雄            生活安全課長 石垣輝雄、刑事課長 松島正法、交通課長 高橋寛拓            警備課長 沼野井雄二 <span style="float: right;">計10人</span></p>
議事要旨	<p style="text-align: center;"><b>警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</b></p> <p>「交番の統廃合に伴う治安維持について」</p> <p>1 「統廃合に伴い、継続して地域住民への安全安心を高める活動に努められたい。」との答申を受けて、次のとおり説明した。            万騎が原交番の統廃合に伴い、アクティブ交番を同交番管内所在の横浜市こども自然公園有料駐車場（旭区大池町所在）の他2箇所定期的に開設しており、来訪者からは開設に対する安心感、さらには感謝の言葉などが多数寄せられている。            今後も、機動力を生かした管内のパトロールを行うとともに、計画的に担当区内の治安対策に努める。</p> <p>2 「アクティブ交番を地域の治安維持のために、効果的に活用されたい。」との答申を受けて、次のとおり説明した。            アクティブ交番を定期的に開設するとともに、管内の警ら活動、交通取締り及び車両検問等に活用して、地域の治安維持に努める。</p> <p>3 「あらゆる警察活動を通じて、アクティブ交番を多くの地域住民に知ってもらうための活動に努められたい。」との答申を受けて、次のとおり説明した。</p> <p>(1) アクティブ交番を多くの地域住民に知ってもらうために、積極的な触れ合い活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクティブ交番開設時に、親子連れ等に対する積極的な声掛けをするとともに、勤務員や車両との写真撮影を促すなどの触れ合い活動を実施した。</li> </ul> <p>(2) 各種キャンペーンにおける周知活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管内所在の小学校における社会科授業や痴漢撲滅キャンペーンにおいて、アクティブ交番の展示と説明を行った。</li> </ul> <p>(3) 当署ホームページ等への掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当署ホームページにアクティブ交番の活動内容や活動イメージ、開設予定日などを掲載している。</li> </ul> <p>今後もアクティブ交番を活用して治安維持に努めるとともに、各種警察活動等を通じて積極的に地域住民に周知する活動を推進する。</p> <p style="text-align: center;">諮問</p> <p>大規模災害について</p> <p style="text-align: center;">答申</p>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 災害発生時に早期に警備体制を確立し、効果的な災害警備を実施してもらいたい。</li> <li>2 予期せぬ大規模災害に対応できるように、準備に万全を期してもらいたい。</li> <li>3 官民連携の強化に努められたい。</li> </ol>
	業務説明
	<p>前四半期（令和5年4月から6月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和5年7月から9月まで）の業務推進重点について当署幹部から説明を行った。</p>
備 考	視察
	<p>危機管理対策課即応対策チームによる災害訓練の展示や、災害派遣時に体験したことなどの説明を行った。</p>
	視察後の協議会からの意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察官の災害訓練状況を拝見して、頼もしく感じた。</li> <li>・ 体験談から災害発生時に、警察官の任務は過酷な状況になることがわかった。過酷な状況を少しでも緩和できるように、装備資機材を活用してほしい。</li> <li>・ 私たちが一人ひとり、日頃から災害に対する備えを心掛けることが大切だと感じた。</li> </ul>